

# 学力向上特配を活用した 教科担当制の取組

**平成24～26年度**

**小学校高学年教科担当制の推進と理科専科の活用**

**平成27～28年度**

**「確かな学力」研究推進校事業**

**館林市立第三小学校**

# 昨年度までの教科担当制の取組から

## ○群馬県教育委員会指定

小学校高学年教科担当制の推進と理科専科の活用  
(平成24年度～26年度)

学力向上にかかわる成果として

### 指導体制

- 教科担当制部会の定例化(月1回)による授業時間の確保。
- 教材研究の時間が十分取れる。

### 児童・保護者の声

- 「勉強している内容が分かる」(児童) H23 93% ⇒ H27 96%
- 「授業を理解している」(保護者) H23 77% ⇒ H27 91%

### 授業の充実

- 指導内容の系統性を意識した授業ができる。
- 複数の教員が個々のよさに目を向けることができ、児童の学習意欲の向上や生徒指導に成果があった。

# 特配教員を活用した指導体制

---

## ○高学年 … 教科担当制

担任4名 → 国語、社会・英語活動、算数(上位)、体育・図工

専科3名 → 算数(下位)、理科、音楽・家庭科

高学年の教科担任制と専科の授業における授業参加(TT)

## ○中学年 … 算数・音楽・理科

算数習熟度別少人数指導(担任と算数専科)3学年、4学年

音楽専科の指導 3学年、4学年、理科専科の指導 4学年

## ○低学年 … 算数TT指導

T専科とT担任の役割分担を明確にしたTT指導

# 教科担当制の指導体制①

---

## ○教科担当の分担

A教諭→担任・**国語**

B教諭→担任・**社会**・英語活動

C教諭→担任・算数(上位)

D教諭→**算数**(下位)

E教諭→**理科**

F教諭→**音楽**・家庭科

G教諭→担任・**体育**・図工

※**赤字**は中学教科免許を持っている

# 教科担当制の指導体制②

---

○高学年の教科担任制と専科の授業における  
授業参加(TT)

- ・国語 … 「話す、聞く」活動の際のモデル  
漢字・語句の指導
- ・社会 … 課題別調べ学習
- ・算数 … 複数の方法で考える時間  
単元末の定着の時間
- ・理科 … 児童の安全面に配慮する実験
- ・体育 … 器械運動

# 教科担当制部会の取組

---

**教科担当制部会**（毎月第1水曜日）

**メンバー**

**教頭、教務（教科担当部長）**

**学力向上コーディネーター、各教科担当**

**内容例**

【指導体制の調整・確認】

【指導方法の見直し】

【情報交換】

# 教科担当制部会にて

## ★指導体制の調整・確認

---

- 次月の学校行事等におけるコマの調整・確認
- 授業参加(TT活用時間)の調整・確認

※別紙「教科担当制部会資料」参照

# 教科担当制部会にて

## ★指導方法の見直し

---

- 各教科の「指導の重点」の確認
- 知識・技能を活用する力を伸ばす授業に向けての話し合い
- 言語活動の充実に向けての話し合い
- 児童主体の学習活動に向けての話し合い
- 宿題の内容の見直し
- パワーアップタイムの内容の見直し



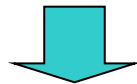
# 授業の改善・充実

---

「考え、表現させる授業の充実」に向けて

1. 「習得」→「定着」→「活用」の流れを意識した授業（単元構成）

2. 「活用」に視点を当てた授業



国語・社会・算数・理科・体育・音楽の6教科で  
「授業の改善・充実のための取組」を作成

## 「授業の改善・充実のための取組」(社会)

～知識・技能を活用する力を伸ばす授業の工夫～

### 1. めあて(ねらい)の設定において

#### ○単元のはじめに

- ・児童が関心をもつような資料を提示して、そこから出た驚きや疑問などを基に単元を貫く学習課題を設定する。
- ・資料は児童に読み取らせたい事柄や情報を明確にして提示する。
- ・単元を貫く学習課題について自分なりの予想をたてる。
- ・課題に対する予想から調べるポイントを作り、それに沿って課題を追究する。
- ・見通しをもって課題解決ができるように、予想を確かめるにはどのような方法が良いか話し合い、学習計画を作成する。

#### ○授業のはじめに

- ・単元の始めに立てた学習計画を基に、本時では共通課題に対する追究場面のどの時間に当たるのかを確認し、本時の課題を設定する。

### 2. 課題解決のための支援(考え、表現させる授業の工夫)

- ・児童に資料を提示する際には、児童の実態に合わせ、その資料が授業のねらいの達成や単元を貫く学習課題の解決に結びつく内容であるかや、その資料から何を読み取らせたいかを教師が明確にもっておくようにする。
- ・児童が必要な資料を集める際は、その資料が調べるポイントに沿った資料であるかどうか判断して選択するようにする。
- ・児童が写真やグラフなどの資料を読み取る際は、既習事項を生かして、読み取るポイントを確認したりする。
- ・児童が集めた情報をまとめる際は、年表や関連図などの図や文章などで、ノートやワークシートに書く。
- ・学習課題に対する答えを考える場面では、短文にまとめたり、キーワードを使ってまとめるようにする。また、調べたことを比較・関連させたり、や社会的事象の意味を考えたりして考察するようにする。
- ・児童が主体的に学習に取り組み、知識が十分に定着できるよう、ジグソー学習などを取り入れる。

### 3. 振り返り・まとめにおいて

#### ○授業のおわりに

- ・本時の課題に対するまとめは自分の言葉で書かせるようにする。うまくまとめられない児童には、授業に出てきたキーワードなどを使うよう伝える。

#### ○単元のおわりに

- ・課題に対して、自分なりの結論を導けるようにする。
- ・追究場面で調べたことや考えたことを地図や年表、関係図などに整理して再構成させる時には、写真や絵、グラフなどを入れてより見やすいものにさせ、矢印や線で関係を結んだ時には、その線の意味を説明させる。
- ・交流をする際は、考えを広げたり深めたりできるようにしたり、一人一人が発表できたりするように、小グループなどで発表させるようにする。

課題の設定

追究する場面における手だて

まとめの場面における手だて

## 「授業の改善・充実のための取組」(理科)

～知識・技能を活用する力を伸ばす授業の工夫～

### 1. めあて(ねらい)の設定に関わって

#### ○単元のはじめに

- ・児童が見通しをもって、主体的に問題解決を図ることができるようにするために、意図的体験活動(自由試行)を取り入れたり、児童の意識の中でズレが生じる自然観察や事象提示を行う。
- ・児童が問題意識をもって学習に取り組むことができるように、児童の意識のズレから発せられる声や疑問を基に問題を設定していく。

#### ○授業のはじめに

- ・学習課題は、結論で児童に導かせたいことが答えとなるような問題文を提示する。
- ・本時の学習課題に関する既習事項や児童の生活体験活動を確認する。

### 2. 課題解決のための支援(考え、表現させる授業の工夫)

#### <予想の場面>

- ・目的意識をもち、見通しをもって主体的に学習に取り組めるように、根拠を明らかにした予想を立てる。
- ・単元のはじめで行った体験活動や既習事項を基に、個別支援を行いながら予想を立て、それぞれの予想をもとに班やクラスで交流を図る。
- ・観察・実験でどのような結果が得られれば、自分の予想が確かめられるのか問いかけるようにする。

#### <観察・実験>

- ・観察・実験の方法に児童の気づきや考えを反映させたり、習得した方法を活用させたりすることで、主体的な取組を図る。
- ・少人数での観察・実験を行い、技能習得を図ることができるようにする。
- ・観察・実験で、基本操作の習得と安全面の配慮が必要なときは、ITを組んで授業を進め、きめ細かな看取りと支援を行う。
- ・観察・実験の結果は、図やグラフを活用して、相手にわかりやすくまとめクラス全体で共有できるようにする。

#### <考察>

- ・観察・実験の結果と予想を比較して、どのようなことが言えるのか筋道立てて考えられるようにする。
- ・本時の結果と習得した知識とを比較しながら考察させる。
- ・個々に考察させたあと、班やクラス全体で意見交流を図り、考えを深めたり、広げたりする。
- ・学年に応じて、「比較する力」「関係付ける力」「条件制御する力」を活用して推論することができるようにする。
- ・学習したことを生活の中で発見したり、当てはめたりできるようにする。

### 3. 振り返り・まとめにおいて

#### ○授業のおわりに

- ・それぞれの児童の言葉をつなぎながら、科学的用語を使い、クラス全体でめあてに沿ったまとめを行う。
- ・本時の授業の中で出た、新たな疑問や問題を確認する。

#### ○単元のおわりに

- ・単元の終わりでは、実感を伴った理解を図るために、習得した知識が日常生活に活用されている事象を取り上げて説明する場面を設定する。

課題の設定

追究する場面における手だて

まとめの場面における手だて

# 公開授業(国語)

---

## 「授業の改善・充実のための取組」(国語)から

### ○ 書くこと

☆相手や目的に応じた記述ができるよう、取材・文章構成・記述について考える場を設けるとともに、できあがった文章を推敲したり、友だちと交流したりする場も合わせて設ける。

# 公開授業(国語)



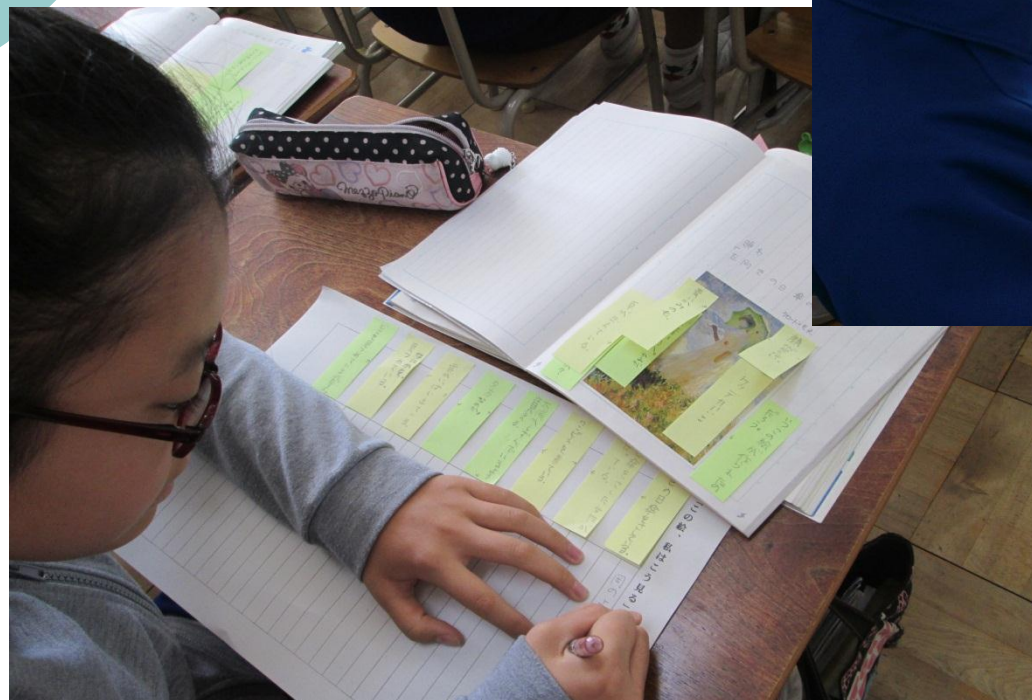
児童同士の交流に向けて  
活動のポイントを確認





# 公開授業(国語)

---



取材・文章構成・記述について考える場の設定

# 公開授業(社会)

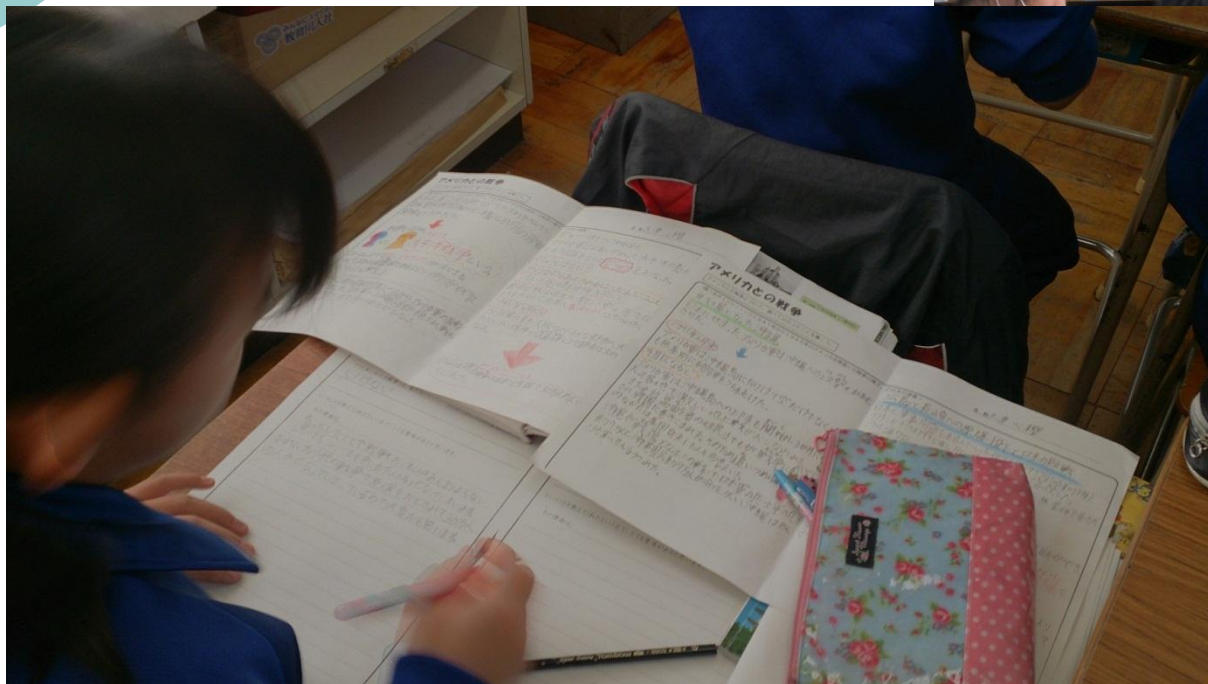
---

## 「授業の改善・充実のための取組」(社会)から

- 学習課題に対する答えを考える場面では、これまで学習したことを使って短文にまとめたり、キーワードを使ってまとめたりするようにする。また、調べたことを比較・関連させたり、社会的事象の意味を考えたりして考察するようにする。

# 公開授業(社会)

調べたことを比較・関連させたり、社会的事象の意味を考えたりして考察





# 公開授業(社会)



伝え合い、知識や考え  
を広げる場面



# 公開授業(算数・チャレンジコース)

---

## 「授業の改善・充実のための取組」(算数)

- 一人一人が自分の考えをもてるように、自力解決の場を必ず設定し、考える時間を確保する。→☆1つの方法で追究できたら、他の方法で追究させるようにする。
- クラス全体で理解を深められるように、自分の考え方を説明したり、友達の考え方を読み取ったりするなど、根拠を明確にした考え方を交流する場を設ける。

# 公開授業(算数・チャレンジコース)

自力解決の場面



根拠を明確にし、考え方を交流する場面

# 公開授業(算数・じっくりコース)

---

## 「授業の改善・充実のための取組」(算数)から

- 活用する力を伸ばすために、既習の基礎的・基本的な知識・技能をもとに、考えや根拠を記述したり、説明したりする活動を行う。
- 課題解決に向けて考えを深めるために、明確な視点を示して比較・検討できるようにする。

# 公開授業(算数・じっくりコース)

考えや根拠を記述したり  
説明したりする活動





# 公開授業(理科)

---

## 「授業の改善・充実のための取組」(理科)から

- 観察・実験の方法に児童の気づきや考えを取り入れたり、既習の方法を活用させたりすることで、主体的な取組を図る。
- 本時の結果と既習内容を比較したり、観察・実験の過程での気づきや発見を基にしながら考察できるようにする。
- 個々に考察した後、班やクラスで考えを交流し検討することで、考えを深めたり、広げたりする。その上で、再び自分の言葉で考えをまとめられようにする。

# 公開授業(理科)

既習や経験をもとに  
予想



観察・実験の方法に児童  
の気づきや考えを取り入れ  
たり、既習の方法を活用

# 公開授業(理科)



担任とのTTの様子

# 公開授業(体育)

---

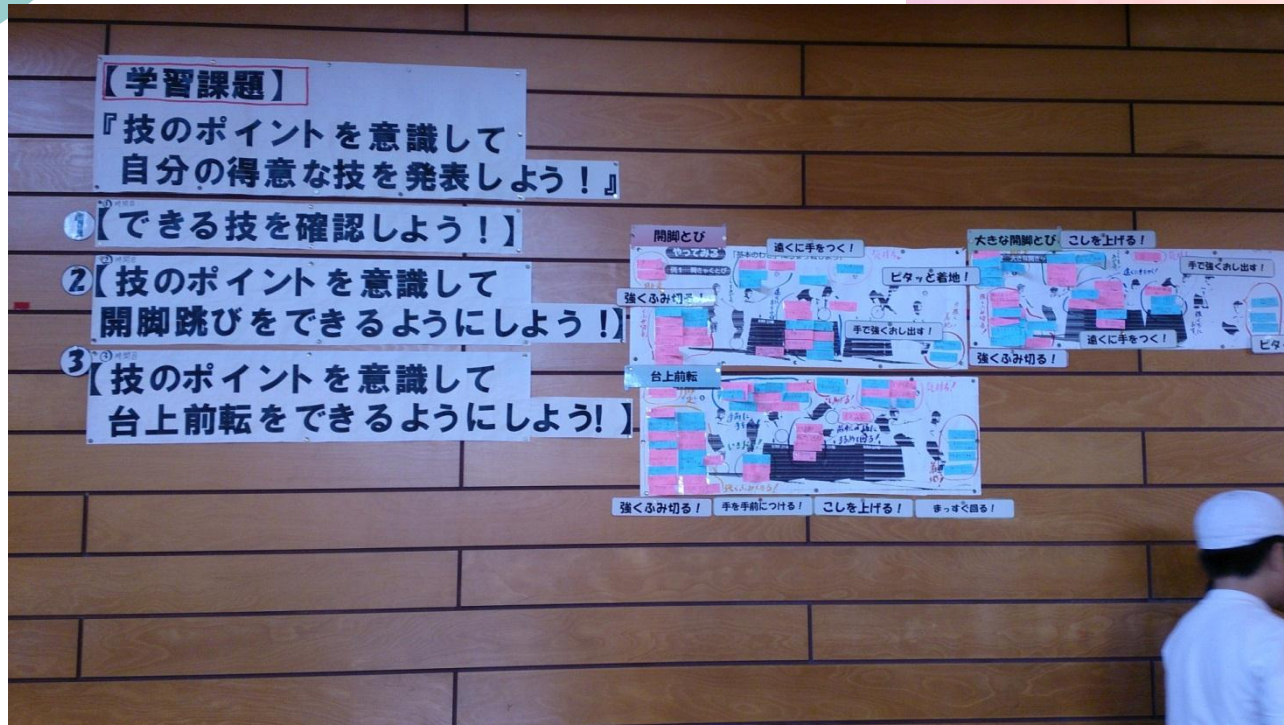
## 「授業の改善・充実のための取組」(体育)から

- 運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、技に関連した易しい運動を取り入れたたりスモールステップの練習を行える場を設定したりして、段階的に取り組めるようにする。
- 本時の課題を示すとともに、「技のポイント」をキーワードにして示した掲示物を使うなど視覚化することで、運動のねらいや「技のポイント」を明確にした授業づくりに努める。



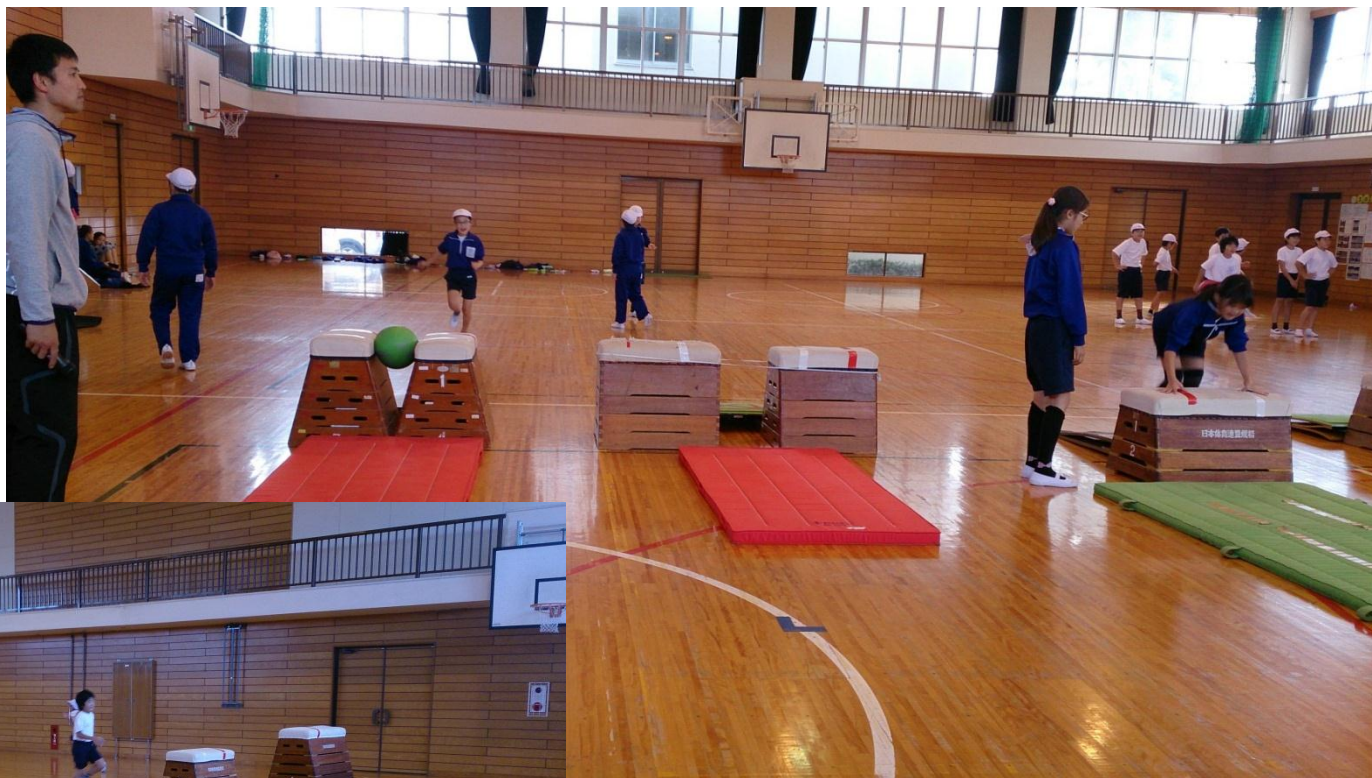
# 公開授業(体育)

運動のねらいや「技のポイント」を提示



「技のポイント」をキーワードにして示した掲示物

# 公開授業(体育)



スモールステップの練習を行える場を設定